

Labo News

らぼニュース

発 行 所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電 話 052-581-1013
F A X 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座 731-677
発 行 人 梶 山 広 美
編 集 人 山 田 真

No.428 目次

- ◆平成29年度日臨技中部圏支部
医学検査学会（第56回）報告 …… (2)
- ◆平成29年度日臨技中部圏支部
医学検査学会（第56回）懇親会報告 … (4)
- ◆第5回AAMLSアジア医学検査学会
韓国釜山にて開催される!! …… (5)
- ◆春日井健康救急フェスティバル開催報告… (4)
- ◆平成29年度
「日臨技精度保証施設認証制度」のお知らせ… (7)
- ◆New Yearパーティーを開催します! … (7)
- ◆「平成29年度認知症対応力向上講習会B」
開催案内 …… (8)
- ◆地区だより …… (9)
- ◆日臨技中部圏支部
生物化学分析検査研修会 …… (9)
- ◆基礎講座・講演会・研究会 …… (10)
- ◆平成29年度愛臨技スキルアップ研修会… (12)

組織部活動について

組織部長 牛田 展浩

昨年度に引き続き、愛知県臨床検査技師会の組織部を担当させていただきます。だいどうクリニックの牛田展浩です。日頃より愛臨技組織部担当の事業にご参加、ご協力頂きありがとうございます。組織部長としての仕事はまだまだ分からないことだらけで何かとご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

ご存知のように愛臨技は公益法人ですので、公益目的事業の比率50%以上が求められます。組織部は渉外部門の傘下であり、公益活動を目的とした事業などを担当し、愛臨技定款において定められた「県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行う事業」及び「会員並びに賛助会員向け事業」を主とした様々な活動の企画・立案や実務のサポートを行っています。

組織部が行う主な事業としては「県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行う事業」として5月に名古屋市が主催する世界禁煙デーの街頭啓発キャンペーン、9月に春日井健康救急フェスティバルに参画しました。年間を通じて月2回HIV抗体検査ボランティアを行っています。11月11日の臨床検査の日に合わせて全国検査と健康展が行われるのですが、今年度は愛知県が全国の中央会場となっており、臨床検査技師という職種、業務についての広くアピールする場となります。「会員並びに賛助会員向け事業」としては4月に新入職員を対象としたフレッシュセミナーを今年度初めて開催しました。例年、10月にスポーツ（ボウリング）大会及び懇親会、1月にニューイヤーパーティーを開催し、会員、賛助会員とも多くの方の参加を頂いています。また、各地区における研修会、勉強会などの地区活動のサポートも行っています。その他、管理運営研修会、検査室における管理運営アンケートなども組織部が担っています。

組織部は様々な活動を通じて、臨床検査技師の職能団体として組織の拡充を図り、会員増強運動を展開して組織強化に貢献していきます。会員の皆様には愛臨技が実施しております各種活動にご理解、ご協力を何卒よろしくお願い致します。

平成29年度日臨技中部圏支部 医学検査学会(第56回)報告 その1

副会長 所 嘉朗

平成29年9月30日(土)、10月1日(日)の2日間にわたり、名古屋市の国際会議場の白鳥ホールと2号館において、愛臨技の相山会長を学会長として平成29年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第56回)が開催されました。初秋の空のもと参加者数は会員登録が1232名、非会員8名、賛助会員128名、学生83名、申請中が2名で計1453名となり、盛会裏に終了することができました。

実行委員会では、今回の学会でのメインテーマをもとに、昨今の変化する医療を取り巻く環境を考慮し、本学会が今後の臨床検査および臨床検査技師を考える上でのディスカッションの場となるよう様々な企画を準備してまいりました。

シンポジウムでは、医療のパラダイムシフトに対し何が必要であり、どのように行動するかを各県からのシンポジスト6名により発表していただき、今後の指標となったのではないのでしょうか。また、部門別研究班企画ではサブテーマを具体化する取り組みとして10部門で9つの企画をしていただきました。システム化や機械化の次に我々が取り組むべきことは何か、「個別化医療」「精度管理」「地域医療」などが真剣に討議されました。



また、特別講演は最先端の医学研究をされている東京大学教授の宮崎徹先生による「血中タンパク質AIMによる生体内異物除去機構を基盤とした新しい疾患治療の展望」をご講演いただき、今後の治療法の進歩に期待が高まりました。

公開講演では一般の県民にも参加いただき、今テレビ等で話題の近畿大学教授である澤田好史先生の「クロマグロの完全養殖技術－過去・現在・未来－」と株式会社明治の夏目みどり先生には「チョコレートで美味しく健康になろう」をご講演いただきました。蒲郡市で行われた前向き研究の結果、72%カカオのチョコレートを4週間食べることで血圧が低下したことには驚きました。



日臨技企画としまして開会式後に宮島喜文日臨技会長の法改正についてのご講演、そのあとに業務拡大を担う病棟検査技師企画と学会2日目には学生フォーラムを開催いたしました。学生フォーラムでは、藤田保



健衛生大学と名古屋大学の学生が中心となり病院勤務と企業勤務についての討議があり学生の将来の働き方の参考になったのではないのでしょうか。また、中高校生向け進学支援ガイダンスのブースでは化学発光や超音波検査体験、細胞や組織標本検鏡などを体験していただきました。事前申し込みのほか当日参加もあり予想を超す参加者となり大盛況でした。一般演題は152題と多数の応募をいただき、それぞれ活発な質疑応答がされておりました。

学会式典後に開催された懇親会では270名を超える参加者があり、おいしい名古屋飯と10種の日本酒を堪能でき、また楽しいアトラクションもあり大変盛り上がったとても有益な情報交換の場でした。

以上本学会を支援いただきました実務委員はじめ協賛企業など、この場をお借りして関係各位に深く感謝申し上げます。



学会式典



平成28年度日臨技中部圏支部医学検査学会学術奨励賞受賞者



平成 29 年度日臨技中部圏支部 医学検査学会(第 56 回)懇親会報告

懇親会担当 蒲郡市民病院 雪吹 克己

平成29年9月30日(土)、名古屋市の国際会議場の3号館「カスケード」において、平成29年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第56回)懇親会が開催されました。思い起こせば1年前、実行委員長より直々にお電話をいただき懇親会ならいいかと安易に受諾してしまったものの、実際には会場の問題、費用の問題等なかなか一筋縄にはいかず苦労しました。前回の会場は「白鳥ホールの半面」つまり機器展示会場を使って行われましたが、機器にカバーをする事、展示を早めに終了する事など問題点は多く、本来の食事をする所ではないため会場設営・清掃にかなりの費用を要しますが、今回行った「カスケード」においては本来のレストランのため、天井はやや低かったですが、広さは同等、費用の面においてはかなり抑える事が出来たと思います。全体の費用としまして参加費を5000円にした事で当初は参加人数が少ないのではと心配しておりましたが、会員・賛助会員の皆さんには前回(260名)を上回る300名近くの方にご参加していただき、大変ありがとうございました。イベントとしましては、お酒の席でガヤガヤしている中では少しインパクトがある方が良いかと東三河地区から「長篠陣太鼓保存会」の皆さんに演奏していただき、なかなか身近では見ることのないイリュージョンを「ミステリックSHINYA」さんをお願いし、見事なイリュージョンを見せてもらいました。また、鏡開きにおいて今回は升到に記念の焼印を入れましたが、いかがだったでしょうか。

今回、樽酒が1斗(18L)・持ち込んだ日本酒が約10本・空けたビール400本との事で、皆さん十分に楽しんでいただけたかと思います。

最後に、各実行委員・実務委員の皆様には大変お世話になりました。皆様のおかげで無事開催する事ができました。本当に、ありがとうございました。



第5回AAMLSアジア医学検査学会 韓国釜山にて開催される!!

(会期：平成29年9月22日～24日)

日臨技 梶山 広美

アジア医学検査会 (Asia Association of Medical Laboratory Scientists; AAMLS) は、1997年に設立され、4年ごとに学会が開催されてきました。平成21年(第3回)は日本(横浜)にて開催されました。今年は韓国(釜山)にて開催され、参加国は、韓国、フィリピン、日本、台湾、タイ、香港、マレーシア、インドネシア、マカオ、シンガポール、ブルネイ、ミャンマー、オーストラリア、ラオス、インド、アラブエミレーツ、米国の17か国で、総参加者数は、5,765名(日本78名)でした。愛知県からの参加は、14名で日臨技から滝野執行理事(名古屋市立大学)、菊地国際WG委員(名古屋大学医学部附属病院)と梶山、そして今回功労者表彰を受賞された松本祐之氏(中部大学)他一般参加者10名となりました。ポスターセッションでは、265の発表があり、外国人111(日本人31)の演題から優秀ポスター賞10名が選出され、そのうち日本人5名が受賞し3名が愛知県の会員でした。学会に参加、発表された会員からは、良い経験ができたとの声を聞いております。次回は2019年タイでの開催です。みなさんも是非海外での学会発表を経験してみませんか。

国際学会を経験して ～アジア医学検査学会における 愛知県の飛躍～

名古屋大学医学部附属病院 医療技術部
臨床検査部門 名倉 鮎里

2017年9月22日(金)～9月24日(日)の3日間にわたり、韓国釜山にてThe 5th Congress of the Asia Association Medical Laboratory Scientists (AAMLS; アジア医学検査学会)が開催されました。アジア地域を主とした17か国の臨床検査技師による化学、血液、微生物、輸血、病理等の専門分野に分かれての講演、学生フォーラム、250題近くのポスター発表、病院見学が行われました。全過程を通して、臨床検査のレベルには幅があるものの日々

現場で感じる悩みどころや検討課題にはたくさんの共通項があること、アジア各国の英語力は見習うものがあると感じました。その中でも、優秀ポスター発表者に送られるPoster Awardでは10名中3名が愛知県下の技師という好成績を納めることができたことは大変嬉しく思いました(名古屋第二赤十字病院 岩田英紘技師、名古屋大学医学部附属病院 菊地良介技師および著者)。

学会期間中には、ガラディナーといわれる懇親会のようなものが行われアジア各国の料理や韓国の伝統芸能、ダンスタイムを通じての国際交流も楽しむことができました。国際交流の重要性と高い志を持つ諸先輩方、同世代と技師と大変有意義な時間を過ごすことができましたことに感謝申し上げます。



愛知県からの参加者との思い出

春日井健康救急フェスティバル開催報告

組織部長 牛田 展浩

平成29年9月3日、春日井市総合体育館にて「春日井健康救急フェスティバル」が開催されました。春日井市が主催のこの催しにはいろいろな団体が参加し、地域住民の方を対象に健康に関する様々なイベントを行っていましたが、愛臨技も「見てみようがん細胞」と題して顕微鏡で乳がん細胞標本や口腔粘膜の細胞を採って見ていただくという内容で参画し、延べ198名の来場者がありました。今回ご協力頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

2017 年健康救急フェスティバルに参加して

名城病院 三ツ石知世

今回わたしは、春日井市総合体育館で開催された春日井健康救急フェスティバルに参加し、体験コーナーのひとつである“見てみよう、がん細胞”のコーナーの運営に携わらせていただきました。口腔内の上皮を実際に顕微鏡で観察するコーナーと、正常乳腺と乳癌の組織標本を顕微鏡で観察するコーナーの二種類を行いました。多くの方が、超音波エコー検査やマンモグラフィー検査で乳癌が発見されることを知っていました。しかし、その後細胞診検査や組織診検査にて採取された、細胞や組織標本を観察して乳癌と診断されていることを知らない方が多いのに驚きました。胸の中のどのような部分が病気になっているのか、正常な乳腺の構造・正常な乳腺の組織と乳癌の組織との違いなどを、実際の標本や写真などで説明し、多くの方に知ってもらうことができました。春日井健康救急フェスティバルには、子供から老人まで幅広い年齢層の方が参加され、臨床検査技師がこのような標本作製など行っていることを、多くの方に知ってもらうことができてよかったです。



● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

2017年10月11日現在 正会員数 3,268名

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



平成29年度「日臨技精度保証施設認証制度」のお知らせ

I. 日程

1. 申請書類受付期間：
平成29年10月2日(月)～11月30日(木)
2. 日臨技審査：
平成29年12月1日(金)～12月27日(水)
3. JCCLS承認、執行理事会(理事会)審議・承認：
平成30年1月上旬～2月上旬(予定)
4. 承認通知・認証料請求書発送：
平成30年2月中旬～下旬(予定)
5. 認証書発送：平成30年3月下旬(予定)

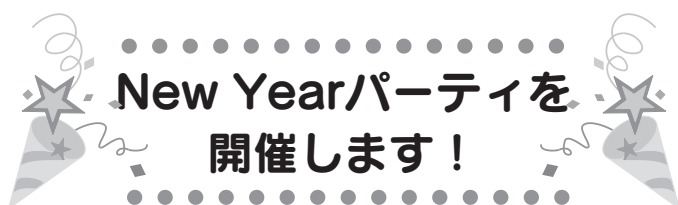
II. 申請書類送付先

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
精度保証施設認証WG 宛

IV. 申請費用

50,000円です。審査承認後、認証の合格通知と請求書が送付されます。

★詳細は日臨技HP 施設認証制度(日臨技精度保証)をご確認ください。



恒例となりました「New Yearパーティ」を下記のとおり開催いたします。今年も昨年と同じ名古屋駅近くの名古屋国際センタービル25F「東天紅」が会場です。

例年同様に今年も多数の方の参加を期待しています。堅苦しい会ではありませんので、是非新人の方などにもお声をかけて頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年1月17日(水) 19:00～21:00
(受付は18:30より)

場 所：東天紅 名古屋
名古屋市中村区那古野1-47-1 国際センタービル25階
地下鉄桜通線「国際センター」下車すぐ
名古屋国際センタービルの地下とつながっています

会 費：5,000円

当日、徴収致します。なお、キャンセルは1週間までにご連絡下さい。

1週間以内の場合は、キャンセル料が発生しますので、宜しくお願い致します。

申込方法：愛臨技HPの「愛臨技行事 参加申し込み」から申し込みをお願いします。

注) 携帯からの申し込みは不可。返信の案内が届かなかった場合は下記に問い合わせください。

申込期限：平成29年12月28日(木)

問合せ先：だいどうクリニック 健診センター

牛田 展浩

電話：052-611-8680

メールアドレス：n-ushida@daidohp.or.jp



「平成 29 年度認知症対応力向上講習会 B」 開 催 案 内

1. 開催日時：平成30年 2 月25日(日) 9 時00分～18時30分（受付 8 時30分より）
2. 会 場：名古屋医療センター（B1第 7 会議室）〒460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1
3. カリキュラム（計500分）

コマ時間	テーマ	進行
60分	神経心理学的検査総論	ビデオ視聴
	～認知症疾患医療センター、物忘れ外来、 認知症スクリーニングで主に活用される検査～	講師：国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝
60分	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査 総論	ビデオ視聴 講師：鳥取大学医学部教授 日本認知症予防学会理事長 浦上 克哉
90分	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム検査 の実習	企画担当者が進行
30分	ADAS検査総論	ビデオ視聴 講師：鳥取大学医学部附属病院神経内科 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター 臨床心理士 浜田 実央
60分	ADAS検査の実習	企画担当者が進行
30分	TDAS検査総論	ビデオ視聴 講師：鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座助教 河月 稔
60分	TDAS検査の実習	企画担当者が進行
60分	その他の簡易スクリーニング検査総論 ～道路交通法改正もふまえて～	ビデオ視聴 NPO高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司
50分	その他の簡易スクリーニング検査の実習	企画担当者が進行

4. 主 催：公益社団法人愛知県臨床検査技師会、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
5. 共 催：日本認知症予防学会
6. 後 援：厚生労働省、一般社団法人日本病院会、愛知県医師会（予定）、愛知県病院協会（予定）、国
立病院臨床検査技師協会東海北陸支部
7. 受講資格：日臨技所属会員であること（必須）
愛知県臨床検査技師会所属会員であること（必須）
検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を修了していること（必須）
「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」の修了者で認定認知症領域検査技師制
度の講習会などの受講歴があることが望ましい
8. 募集定員：最大15名
9. 受 講 料：2,000円（受講者負担または受講者が所属する施設負担）
10. 事前参加申込方法：日臨技ホームページの会員専用ページから申し込み
11. 申込み期限：平成29年12月 1 日より平成30年 2 月 9 日(金) まで
(最大定員に達し次第締め切ります)
12. 生涯教育点数：専門教科 20点
13. 問い合わせ先：愛知県がんセンター中央病院 所 嘉朗
電話：052-762-6111（PHS6120）アドレス：aipatho@hotmail.com

以上

一宮市ってどんなまち？

一宮市立市民病院 片山 尚



一宮市は濃尾平野の中央に位置し、木曾の清流と温和な気候、風土に恵まれ、古くから真清田神社の門前町として尾張北西部の経済の中心として繁栄してきました。

一宮の地名は、真清田神社が平安時代に尾張の国の「一の宮」(国司がその国の神社を参拝して回る時、最初に出掛ける神社)であったことから呼ばれるようになりました。

一宮の織物の歴史は古く、平安時代にさかのぼり、江戸時代には縞木綿や絹織物の生産地として広く知られ、明治以降は工業化された毛織物工業の中心地として急速な発展をとげました。大正10年には市制が施行され、現在では、総合繊維産業都市として全国に知られるようになりました。

平成17年4月に尾西市と木曽川町との合併により、人口約37万人の新しい「一宮市」が誕生し、木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまでに積み重ねた歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曾の清流に映え、心ふれあう躍動都市一宮」を将来像に、まちづくりを進めています。

また、一宮は全国的にも喫茶店の多いまちで、多くのお店でドリンク代のみでトーストやゆで卵、サラ

ダなどが付く「モーニングサービス」をしています。

昭和30年代の繊維産業が華やかな時代、機屋さんが商談の際、工場では織機の音で騒がしいので、喫茶店がよく利用されました。そこで、お店の人が常連さんのために朝のサービスとして、コーヒーにゆで卵とピーナッツを付けたのがモーニングのはじまりと言われています。喫茶店は一宮の人にとっては、毎日のように利用するほど身近な場所として定着しています。こうしたニーズも相まって、多くのお店で趣向を凝らしたサービスが提供され、個性豊かなモーニングを楽しむ事が出来ます。

さて、私が所属する臨床検査室は、臨床検査技師、看護師、補助員合わせて55人で日常業務を行い、それ以外ではNST、ICT糖尿病教室、カンファレンス等のチーム医療にも積極的に参加しています。

NSTでは検査の専門性を生かし検査データの情報提供を行い、ICTでは年間44回のラウンドを行い院内感染防止の情報発信源となっています。

地域の皆さんに愛され、信頼され、期待に応えられる病院を目指す為に、臨床検査室一丸となって努めていきたいと思っています。



日臨技中部圏支部 生物化学分析検査研修会

専門教科：30点

日 時：平成29年12月9日(土) 12：30～
平成29年12月10日(日) 11：40

場 所：近江町交流プラザ4階「集会室」
石川県金沢市青草町88番地

テ ー マ：臨床検査技師の将来を考える

～臨床化学・免疫担当技師の立場から～
申込締め切り：平成29年11月17日(金)

詳細は愛臨技HP研究班活動または日臨技HP日臨技支部情報(お知らせ、研修会、支部学会)をご覧ください。

基礎講座

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：平成30年1月21日(日) 9:30～16:30

場所：名古屋大学医学部基礎棟3F 第1講義室
名古屋市昭和区鶴舞町65番地

JR中央線・鶴舞駅(名大病院口側)下車

テーマ：初心者向け血液像の見方

講師：1. 顕微鏡の正しい使い方
オリンパス株式会社 岡留 竜弥
2. 末梢血液標本の作成から末梢血液細胞鑑別の基礎
JA愛知厚生連 江南厚生病院

川崎 達也

司会：愛知医科大学病院 今井 正人

実習：3. 顕微鏡実習 血液検査研究班班員

内容：午前の講義では、血液像をこれから読み始める人、または読み始めたばかりの人を対象に正しい顕微鏡の使い方から細胞の見方を学びます。午後の実習は、正常から異常の末梢血液像を実際にカウントします。

定員：40名(応募多数の場合、施設ごとに調整させていただきます。)

参加費：2,000円

申込方法：①会員番号 ②氏名 ③施設名 ④所属
⑤連絡先(TEL) ⑥血液検査・血液像経験年数を記載のうえ、Eメールにてお申込み下さい。
(件名は『基礎講座事前申込み』として下さい。)

申込先：名古屋大学医学部附属病院 医療技術部
山本ゆか子 宛
Eメール aichiblood0121@gmail.com
連絡先 052-744-2595

申込期限：平成29年11月30日(木)

但し、定員になり次第締め切ります。

*申込の受領については、12月17日までにEメールで受講料の納入方法と共に連絡いたします。なお、昼食は各自で用意下さい。

講演会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年12月2日(土) 15:00～17:00

場所：リップルスクエア

名古屋市東区東桜1-1-10

アーバンネット名古屋ビル20F

共催：生物試料分析科学会 東海北陸支部

テーマ：検査データをどうよむか
～技師目線、医師目線から考える～

講師：藤田保健衛生大学医学部血液内科学講座
稲熊 容子
藤田保健衛生大学病院臨床検査部

齊藤 翠

司会：公立西知多総合病院 山内 昭浩

藤田保健衛生大学病院 藤田 孝

内容：R-CPC形式で検査データを読んでいます。検査データのみで、どこまで解析できるか、また、臨床医はどのように検査データを読み診療に活用しているのかを解説していただきます。

講演会

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年12月9日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋第二赤十字病院

3病棟1階研修ホール

テーマ：救急外来での検査
～確定診断までの道のり～

講師：名古屋第二赤十字病院
第二総合内科部長 横江 正道

テーマ：尿沈渣から考える病態診断

講師：藤田保健衛生大学医療科学部

星 雅人

司会：名古屋第二赤十字病院 安土みゆき

内容：救急外来に患者様が到着してから確定診断に至るまでを、診断の流れ、診断のために必要な検査や、病態、治療など救急専門医の横江先生にご講演いただきます。また、尿沈渣から考える病態診断と題しまして、尿沈渣検査から病態を推測するために、どのように考えて鏡検していけばいいのかを学びます。

多数の方の参加をお待ちしております。

講演会

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年12月9日(土) 15:00～17:30

場所：名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂

テーマ：DICと輸血

講演 1：「DICの病態とAT療法」

一般社団法人 日本血液製剤機構

東海統括部

山田 雄也

講演 2：「アコアラン（リコンビナントAT）の使用経験」

藤田保健衛生大学病院

磯貝 聡衣

特別講演：「DICと輸血」

金沢大学 医薬保健研究域 保健学系

病態検査学 教授

森下英理子

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

司会：日進おりど病院

小木曾美紀

内容：DICは、基礎疾患の存在下で全身性持続性の著しい凝固活性化状態をきたします。治療としては、基礎疾患治療、抗凝固療法、補充療法、抗線溶療法があります。このうち輸血部門が関わる抗凝固療法としてアンチトロンビン濃縮製剤の使用、補充療法として濃厚血小板、新鮮凍結血漿輸血があります。今回は、DICの病態、診断基準及びAT療法について解説します。またAT製剤の使用経験について紹介します。特別講演として、金沢大学の森下先生にDIC総論、病型分類、輸血を含む適切な治療法について講演いただきます。多くの参加をお待ちしています。

講演会

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年12月9日(土) 15:00～17:00

場所：リップルスクエア

名古屋市東区東桜1-1-10

アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通（地下鉄名城線）出口3B

テーマ：知っておきたい、消化器内視鏡と画像診断

講師：

1. 「消化管腫瘍に対する内視鏡診断と治療」

名城病院 消化器内科

水谷 太郎

2. 「画像診断の基礎」

名古屋大学大学院 医学系研究科

医療技術学専攻 医用量子科学講座

島本佳寿広

司会：名古屋大学大学院 医学系研究科

橋本 克訓

内容：臨床検査技師として「知っておきたい消化器内視鏡と画像診断」についての講演会を企画しました。内視鏡は診断のみならず治療のツールとして進化しています。消化管全般の内視鏡診断・治療についてのご講演をいただきます。また、病理・細胞診に従事する技師の画像診断に対する関心は高まっています。画像診断機器の原理や診断の実例を交えて画像診断について、解説していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

研究会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年12月9日(土) 15:00～17:00

場所：スズケン名古屋支店 2F 会議室

テーマ：遺伝子検査を巡る診療報酬、診断薬の現状

講演 1：『CDxの現状と課題

－EGFR変異検査の保険点数と運用－』

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

遺伝子診断事業部

林 海美子

講演 2：『肺癌治療におけるPD-L1検査の役割』

MSD株式会社

オンコロジーメディカルアフェアーズ

縄田 寿克

司会：名古屋第二赤十字病院

岩田 英紘

内容：遺伝子検査に関してはコンパニオン診断薬（Companion diagnostics：CDx）、自家調製検査法（Laboratory Developed Test：LDT）の取り扱いなど他の検査とは違った保健診療体制となっています。また、治療の観点から新規の検査項目への要望が高く、どのように対応すべきか迷うことも多々あります。そのような疑問点を少しでも解消できる研究会を企画しました。多数の参加をお待ちしております。

平成29年度愛臨技 スキルアップ研修会 『救急病態と臨床検査を繋ぐII』

- 【日 時】平成30年1月28日(日) 9:00～16:50(8:30から受付)
【会 場】名古屋市立大学医学部医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A
【募集人数】150名
【参 加 費】会員 2,000円 他県会員 2,500円 非会員 4,000円
【申し込み】平成29年12月1日から12月22日まで 日臨技HP 会員専用サイト から事前申込。
非会員の方は下記問い合わせ先まで直接ご連絡ください。
【生涯教育】専門教科:20点
【内 容】専門分野のコメンテーターが「意識レベル低下」の2症例の救急病態をみなさんと一緒に読み解いていきます。奮ってご参加ください。

【プログラム】

- 8:30～9:00 受付
- 9:20～9:30 オリエンテーション・開講式
- 9:30～10:10 講演1「血液ガスの判読と救急病態」
ラジオメーター株式会社 学術課 三沢 泰一
症例検討コメンテーター 公立陶生病院 位田 陽史
藤田保健衛生大学病院 西垣 亮
JA愛知厚生連 海南病院 樋口 昌哉
増子記念病院 平田 弘美
公益社団法人 藤田保健衛生大学病院 松浦 秀哲
愛知県臨床検査技師会 JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 蒲澤 康晃
- 10:20～11:40 症例1「意識がない?!」
司会 中部労災病院 中井美千代
- 12:00～13:00 ランチョンセミナー「輸血検査のトラブルシューティング」
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社 学術担当
- 13:20～15:20 症例3「意識がない?!」
司会 名古屋大学大学院 鈴木 博子
- 15:40～16:40 特別講演「意識障害:救急医が考えること」
名古屋市立東部医療センター 救急科部長 安藤 雅樹
- 16:40～16:50 閉講式
問合せ先 中部労災病院 中央検査部 中井美千代
TEL:052-652-5511